

平成 26 年度卒業論文
指導教員：日高水穂

若年層流行語「それな」の方言性と使用実態

関西大学 文学部 総合人文学科

国語国文学専修 国語学コース

文 11-319 宍戸 彩花

目 次

1. はじめに	1
2. 関西弁出自と思われる流行語	3
2-1 はじめに	3
2-2 文末詞ネ類とナ類の対立	3
2-3 全国的に定着した関西弁由来と思われる言葉	4
(1)「めっちゃ」	4
(2)「ゆうて(も)」	4
2-4 まとめ	5
3. アンケートによる調査	6
3-1 はじめに	6
3-2 調査概要	6
3-3 調査項目と集計結果	6
3-4 「それな」の地域差	11
3-5 「それな」の使用開始・流行時期	12
3-6 まとめ	14
4. Twitterによる調査	15
4-1 はじめに	15
4-2 調査概要	15
4-3 調査結果と考察	16
4-4 まとめ	17
5. まとめ	18
6. おわりに	19
参考文献・URL	20

資料：アンケート結果（公開用 PDF では省略）

Twitter 用例集（公開用 PDF では省略）

第1章 はじめに

私は高校生まで関東圏に住んでおり、大学生になってから大阪に住み始めた。大学生になってから、高校の友人が「それな」という言葉を使用するのを耳にし、違和感を覚えた。私が高校生の時まではそのような言葉を使ってはいなかったからだ。

インターネット検索サービス NAVER の作成した「大学生がよくいう言葉まとめ」によると、この「それな」という言葉は「そうだね」「その通りだ」「確かに」などの同意として用いられるようである。また、10代向けのコミュニティサービス「Candy」が発表した「JCJK 流行語ランキング 2013」では「それな」が5位に入っている（図1参照）。「ネット用語辞典 ネット王子」というサイトの「それな」の項目には、「元々は関西弁だが、テレビ番組において女子高生が最近使う元ネタが2chの用語として紹介された。実際にはあまり2ch上で使われることはなくTwitter上で見かけることができる。」という説明がある。このテレビ番組とは日本テレビ系列『SUNDAY COWNTDOWN SHOW シューイチ』という番組内の「まじっすか」というコーナーのこと（図2参照）であり、取材を受けた女子高生が「2ちゃんねるが語源」と回答したが、実際2ちゃんねるでは「それな」という言葉は使用していないようである。

あーね、それな……意味分かる？ 女子中高生の2013年「JCJK流行語ランキング」

「Candy」が2013年「JCJK流行語ランキング」を発表 女子中高生の流行語1位は「倍返し」「10代女子トーク」独自のワード「あーね」「それな」も上位に

株式会社サイバーエージェント（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：藤田晋、東証マザーズ上場：証券コード4751）が運営する、女子中高生を中心とした10代向けブログコミュニティ「Candy」は、「Ameba」を利用する現役女子中高生486名を対象に、「2013年の流行」に関するアンケート調査を実施いたしました。

今回「Candy」では、前回のJCJK（女子中高生）486名に、「2013年に流行した言葉」、「2013年に流行したモノ・コト」について、それぞれアンケートを実施。調査の結果、ランキングトップ10は、下記のようになりました。

※ 2013年の流行 に関する調査/調査対象：「Ameba」ユーザーの女子中高生486名。調査期間：2013年11月19日（水）～19日（金）

Q:今年、自分の周りで流行っていた「言葉」を教えてください。

- 1位：「倍返しだ」 (115票)
- 2位：「考でしょ」 (79票)
- 3位：「あーね」 (59票) 「激おこぶんが丸」 (56票)
- 4位：「それな」 (47票)
- 5位：「じゃんじゃん」 (46票)
- 7位：「果汁プシャー」 (32票)
- 8位：「おつ」 (26票)

サイバーエージェントが運営する10代向けのコミュニティサービス「Candy」は、現役女子中高生へのアンケートをもとにした「JCJK流行語ランキング」を発表しました。2013年に身の周りで流行していた言葉としては、1位が「倍返しだ」。3位に「あーね」と「激おこぶんが丸」、5位には「それな」が登場するなど、一般的なランキングとは違った「JC・JKらしさ」が表れています。

図1 「それな」を流行語として取り上げる「はてなニュース」の記事
(<http://hatenanews.com/articles/201311/17426>)



図2 テレビ番組『SUNDAY COWNTDOWN SHOW シューイチ』の取材の様子
(<http://www.ntv.co.jp/shu-ichi/majisuka>)

意識してみると、会話だけではなく twitter や LINE など目にする事も多かった。そして面白いのが、高校の友人たちは「それな」を関東の言葉として認識しているとのことだった。「それな」を関西弁として考えたことはないそうだ。ネット上では関西弁由来と言われている「それな」という言葉は本来、どの地域の言葉で、どのように広まっているのだろうか。

私はこの問いに、『「それな」は関西の若者言葉であり、それが関東の若年層にも伝播し、流行した。そしてその過程で、関東の若者たちの中で関西弁の認識が薄れ、自分たちの言葉として定着した』という仮説を立てた。

この仮説について、アンケートや先行研究などを用いて考えて行こうと思う。

第2章 関西弁出自と思われる流行語

2-1. はじめに

「それな」という言葉がどの地域の言葉か考えていく上で、なぜ「それな」が関西弁出自と言われるか、「それな」の語形や、他の関西弁出自と考えられる流行語を「それな」の出自や伝播を考えていく手がかりにしようと思う。

2-2. 文末詞ネ類とナ類の対立

『日本語方言辞書』の文末詞「ネ」の項目によると、「諸方言界では、人々の生活上、まず、ネとナとの対立がいちじるしい。かんたんに言って、東京語中心の関東弁ネが、近畿弁のナとよく対立している」とある。また、下の図1の『方言文法全国地図』の略図を見ても、東ではネ類、西ではナ類が語尾として使われていることが分かる。

これより、「それな」という言葉の出自は関西弁と考えられるだろう。

「それな」の他にも、関西弁が由来と思われる、全国に広まった流行語を見ていく。

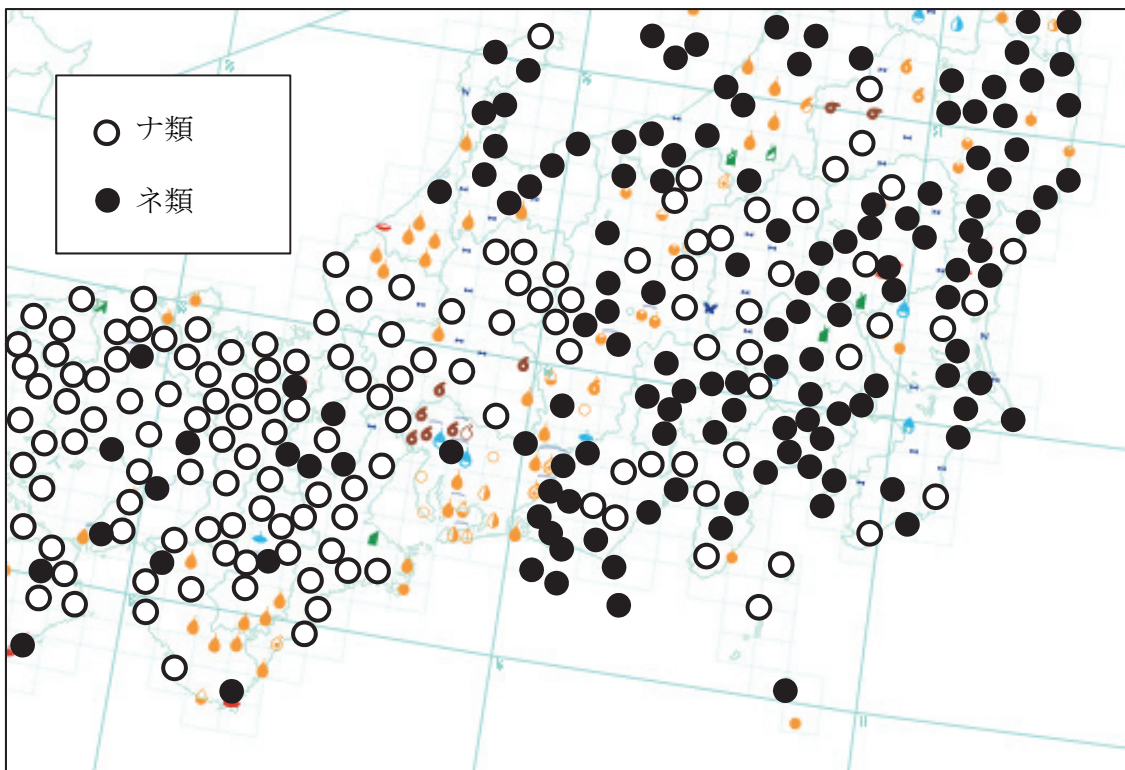


図3 「役場になあ、行ったらなあ」(A場面) (『方言文法全国地図』347図より)

2-3. 全国的に定着した関西弁出自と思われる言葉

(1) 「めっちゃ」

木部他(2013)によると、「めっちゃ」という強調語は、大阪の若者が近年使用するようになった方言で、現在は全国に広がっている。これらの若者が話す関西弁は、芸人などがバラエティ番組で使用し、音声マスメディアに乗って全国に広まっていき、流行語的に取り入れられたという。

(2) 「ゆうて(も)」

動詞「言う」のテ形ウ音便は、西日本方言に見られるものであり、普通標準語では「言っ」のように促音便が使用される。しかし、今首都圏の若年層を中心に、主に文頭でこの「ゆうて(も)」が使われているのを多く聞く。これは方言なのだろうか。首都圏の若者の使用意識を調査した、原田(2012)という論文によると、以下のことが分かった。

「ゆうて(も)」という言葉は、この調査の対象となった首都圏の大学生の半数以上によって使用されており、使用率は「ゆうて」が約70%、「ゆうても」が約50%と、「ゆうて」の方が使用率が高い。また、調査対象となった首都圏の大学生たちの友人など、非首都圏の大学生も「ゆうて(も)」を使用するとの報告があり、その使用は広い範囲に広がっているという。使用時期について、早いものは00年代から使用を開始しているが、多くのものが大学に入ってから使用を開始したと答えている。

加えて、この「ゆうて(も)」という言葉を使用している首都圏の大学生の大半はこれを「東京の言葉」として認識している。そして、「ゆうて(も)」を「東京の言葉」として認識しているものは、他地域の言葉として認識しているものよりも「ゆうて(も)」の使用率が高いという。

また、私が友人との対話の中で気になったのが「ゆうて」のアクセントである。通常、京阪式アクセントではHLL(Hは高い拍、Lは低い拍を表す)という音になる。しかし、関東の若者たちは「それな」をLHHという音で発音しているのである。これは通常、東京式アクセントと呼ばれる音調のパターンである。この点から、「ゆうて(も)」は「めっちゃ」とは違い、テレビなどの音声マスメディアではなく文字を介して伝わったのではないかと考えた。音声マスメディアを介せば、同じアクセントで伝わるはずだからである。文字として関東に伝わり、自分たちの地域のアクセントで使用されていった結果、「東京の言葉」という認識が浸透したのではないか。

2-4. まとめ

『方言分布全国地図』の文末詞ネ類・ナ類の分布より、「それな」という言葉の出自は関西である可能性が高いことが分かった。また、流行語「めっちゃ」「ゆうて(も)」より、関西弁出自の言葉が全国的に流行していく前例があったことが判明した。特に「ゆうて(も)」という言葉は、「それな」と流行時期も近く、主な使用層が大学生あたりの若者というところも共通している。また、標準語にはない語形であるにも関わらず、東京のことばとして認識されがちというところも同じである。これをふまえて実際に「それな」という言葉の使用状況について、いくつかの調査を用いて考えてみようと思う。

第3章 アンケートによる調査

3-1. はじめに

それでは、「それな」という言葉は実際どのように若年層の中で認識されているのだろうか。大阪の関西大学と、東京の東洋大学で下記のアンケート調査を実施した。

3-2. 調査概要

① 関西大学調査（大阪府）

- ・調査時期……………2014年6月
- ・回答者……………関西大学学生 211人
- ・回答者年齢……………1990～1996年生まれの18～24歳
- ・回答者出身地……………福島・静岡・愛知・富山・岐阜・大阪・京都・兵庫・奈良・滋賀・三重・和歌山・岡山・広島・島根・山口・香川・高知・愛媛・大分・佐賀・長崎・宮崎・中国
- ・回答者男女比……………男性 98人/女性 110人（無回答 3人）

② 東洋大学調査（東京都）

- ・調査時期……………2014年9月
- ・回答者……………東洋大学学生 138人
- ・回答者年齢……………1971～1997年生まれの17～43歳
- ・回答者出身地……………北海道・青森・秋田・宮城・福島・群馬・茨城・栃木・千葉・埼玉・東京・神奈川・山梨・静岡・長野・新潟・愛知・兵庫・岡山・宮崎・長崎・中国・台湾
- ・回答者男女比……………男性 53人/女性 76人（無回答 9人）

今回は、①関西大学での回答者の内、小中高と関西圏（大阪・京都・兵庫・奈良・滋賀・和歌山の2府4県）で過ごした関西出身者 161人と、②東洋大学での回答者の内、一番長く住んでいた地域が関東圏（東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の1都6県）である関東出身者 109人のデータのみを取り出し、比較することにした。

3-3. 調査項目と集計結果

(1) 日常会話・メール等で使用する同意表現

まず、普段相手の発言に対して同意を表す場合、どんな言葉を使うかを、日常会話とメールやLINEに分けて尋ねた。

その結果が以下のグラフになる。(図4、図5)

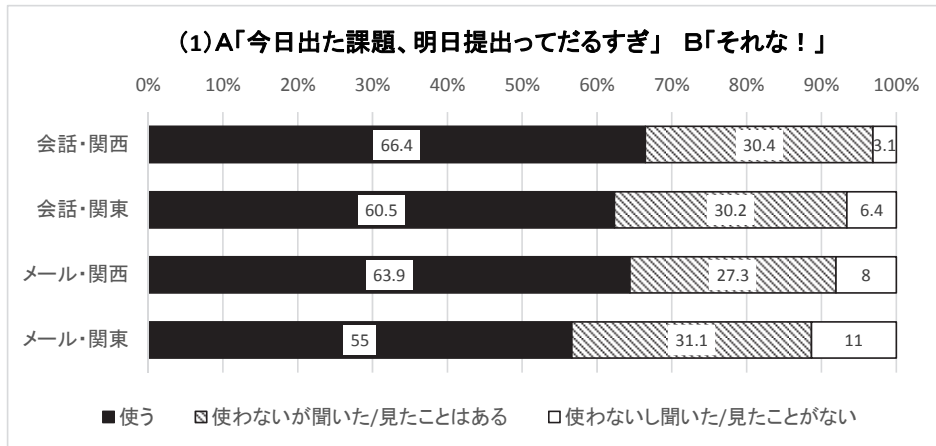


図6 否定的な内容に対する同意「それな」

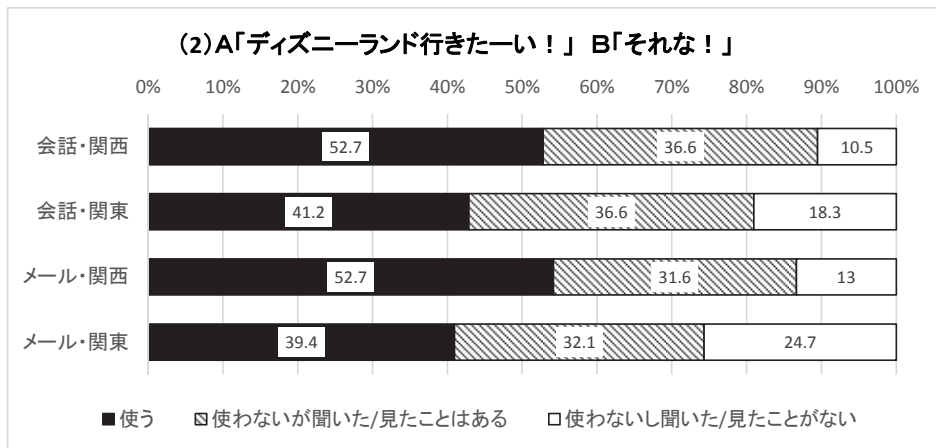


図7 肯定的な内容に対する同意「それな」

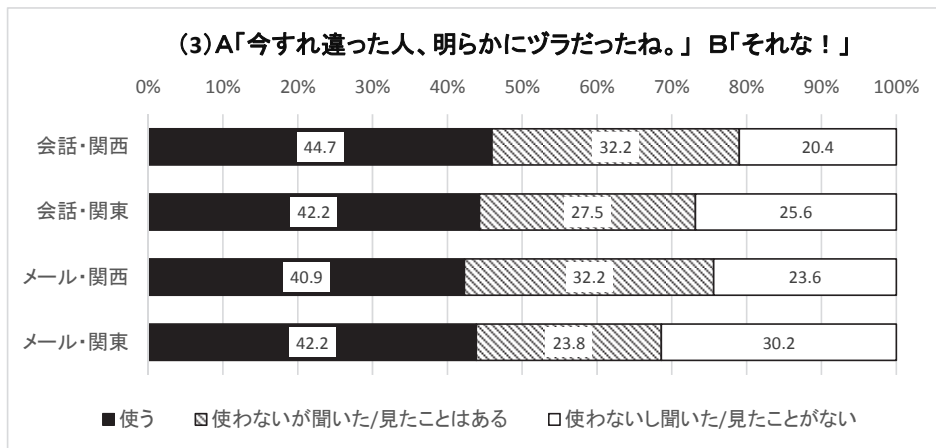


図8 どちらでもない内容に対する同意「それな」

(3) 「それな」の使用時期

(2)の結果を受けて、「それな」という言葉を使うと回答した人、使わないが見たり聞いたりしたことがあると答えた人を対象に、その時期を尋ねた。その結果が以下のグラフである。(図9、図10)

(2)で同意のことばの「それな」を「使う」という方に質問です。「それな」を使うようになったのは、いつごろからですか。

(2)で同意のことばの「それな」を「使わないが聞いた/見たことはある」という方に質問です。「それな」を聞く/見るようになったのは、いつごろからですか。

日常会話 …………… a 小学生の頃 b 中学生の頃 c 高校生の頃 d 大学生になってから

メール・LINE… a 小学生の頃 b 中学生の頃 c 高校生の頃 d 大学生になってから

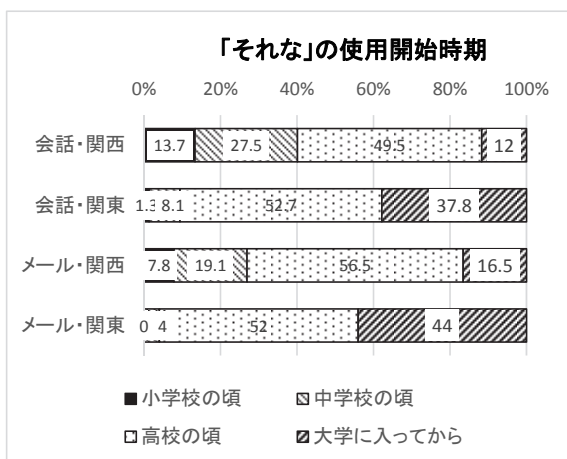


図9 「それな」の使用開始時期

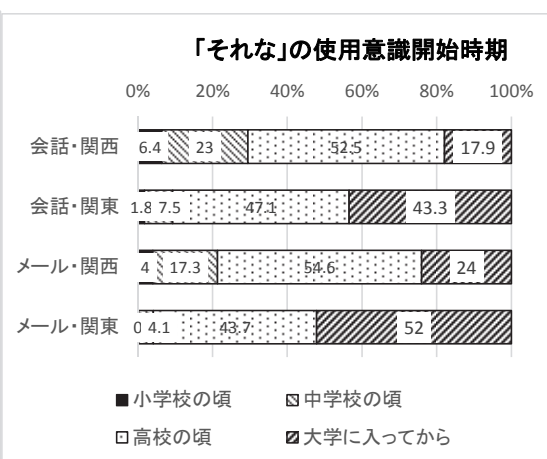


図10 「それな」の使用意識開始時期

(4) 「それな」の流行意識とその時期

それでは、「それな」という言葉が身の回りで流行していたという意識はあるか、あると答えた人にはその時期を尋ねてみた。その結果が以下のグラフである。(図11、図12)

同意のことばの「それな」が流行している(していた)という意識はありますか。あてはまるものに○をつけてください。

- a 流行している(していた)と思う b 流行している(していた)と思わない

上で同意のことばの「それな」が「流行している(していた)と思う」と答えた人に質問です。いつごろ流行しはじめたと思いますか。

- a 小学生の頃 b 中学生の頃 c 高校生の頃 d 大学生になってから

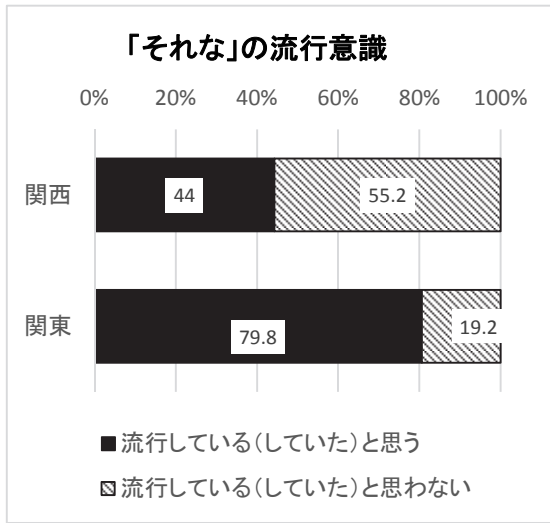


図 11 「それな」の流行意識

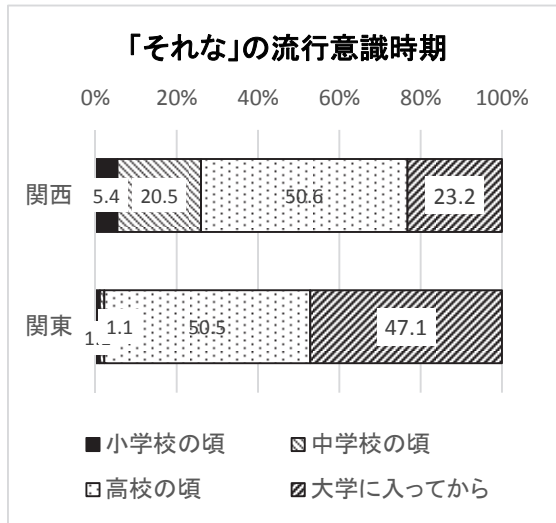


図 12 「それな」の流行意識時期

(5) 「それな」の地域イメージ

最後に「それな」という言葉にどこの地域のことばというイメージがあるか尋ねてみた。この結果が以下のグラフである。(図 13)

同意のことばの「それな」は、どこの地域のことばというイメージがありますか。あてはまるものには○をつけてください。

a 北海道 b 東北 c 北陸 d 北関東 e 首都圏 (標準語圏) f 中部
 g 近畿 h 中国 i 四国 j 九州 k 沖縄 l 特定の地域には限定されない

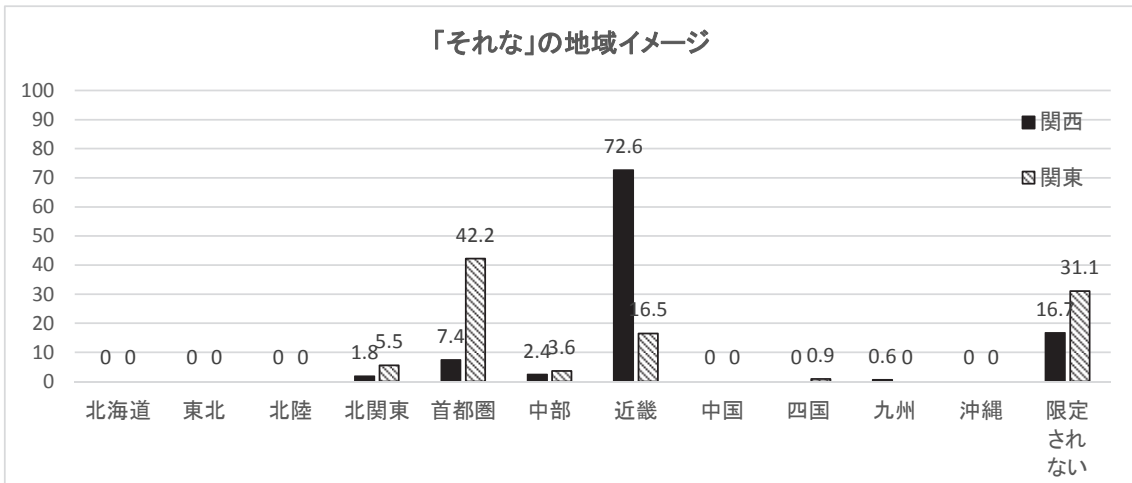


図 13 「それな」の地域イメージ

これらのアンケートの結果をまとめると、以下のようになる。

- ・「それな」という言葉は、関西・関東のどちらの地域でも一般的に使われている。
 - ・関西では「ほんまそれ」「ほんまそれな」、関東では「ほんとそれ」「ほんとそれな」という形で使われることがある。
 - ・「それな」という言葉を使用、または使用を意識し始めた時期は、関東より関西の方が早い。
 - ・関西では、僅差ではあるが「流行している（していた）と思わない」と答えた人が多かったが、関東では約80%の人が「流行している（していた）と思う」と答えた。
 - ・流行を感じた時期も、関東より関西の方が早い。
 - ・関西では72%の人が「それな」を近畿地方の言葉と認識しているが、関東では16%しかその認識の人がおらず、また42%の人が首都圏のことばであると認識している。
- 次に、「それな」の使用に関する東西の地域差を詳しく考えていこうと思う。

3-4. 「それな」の地域差

前出のアンケート結果より、「それな」という言葉に対する東西の使用・流行差について見ていく。

図4・5より、「それな」という言葉単体では、日常会話・メールやLINEともに関東の使用が関西を上回ることが分かる。しかし「ほんとそれ」「ほんとそれな」、「ほんまそれ」「ほんまそれな」という強調+「それな」の形の複合語を見ると、関東の「ほんとそれ」「ほんとそれな」より関西の「ほんまそれ」「ほんまそれな」の方が使用者が多いことが分かる。また、関東では「ほんとそれ」「ほんとそれな」などの複合語より「それな」単体での使用が多く、関西では「それな」単体の倍近く、「ほんまそれ」「ほんまそれな」という複合語の形が多く使われている。言い換えると、同じ「それな」という言葉であっても、関西では「ほんま」という強調語を伴う形で使用されることが多く、関東では「それな」単体で用いられることが多いと言える。また、「ほんま」という強調語は関西弁的であるため、自分たちの中に取り入れる際に、関東では「ほんと」という標準語的な強調語に変換したのではないかと考える。

図6～8を見ると、僅差ではあるが、ほぼすべての項目において関西の使用が関東の使用を上回っていた。これは(1)の結果とは異なるが、この(2)の設問はその他の選択肢を設けず「それな」のみの使用を問うたため、(1)で「ほんまそれ」「ほんまそれな」を選択していた回答者も、(2)では「それな」という言葉を使用するという回答をしてくれたものだと考えた。

関西の結果を見ると、ネガティブな内容である(1)の状況における使用が一番多く見られ、次にポジティブな内容に対する(2)、そしてどうでもいい内容である(3)という順番に使用は減少していくのが分かった。それに対して、関東の結果を見ると、一番使用が多い状況が(1)というのは変わらないが、(3)への使用の状況が関西ほど激減しておらず、(2)と(3)の状況で

あまり変化が見られなかった。このことより、関東では関西ほど話の内容によって使用状況が左右されることがなく、その内容が肯定的であれ否定的であれ、相手の発言に対し自分の強い同意の気持ちを表す手段として広く「それな」が使用されているのではないかと考えた。

(4)の「それな」という言葉の流行意識を問う設問では、東西の差がはっきり出ている。図11より、関西では「流行している(していた)と思う」を少し上回り「流行している(していた)と思わない」の方が多いという結果となり、関東では大差をつけて「流行している(していた)と思う」が多いことが分かる。これまでのアンケート結果を見ると、関東も関西も、多くの回答者が日常的に「それな」という言葉を使用、また使用を認識していることが分かる。それではなぜ、流行意識にこのような差が生まれたのだろうか。

その理由を、関西では関東で「それな」が流行する以前から使用されていたからではないかと考えた。時期について詳しいことは次の項目で言及するが、使用や流行の時期を問うすべての設問において関西は関東より早い時期から「それな」という言葉に触れていたことが分かる。このことより、近年関東では「それな」という言葉が流行し、一般的に使われるようになったが、関西では少なくとも関東での流行以前、アンケートに回答している大学生の年代が流行の意識を持たないくらい前から「それな」という言葉が広く使われているのではないかと考えた。

図13を見ると、関西では「それな」を近畿地方の言葉と認識しており、関東では首都圏の言葉、もしくはどこかの地域に限定されない言葉と考えていることが分かった。2章で挙げた「ゆうて(も)」のように、関東では自分たちの地域の言葉として捉えている人が一定数いるということが分かった。

私の立てた仮説の内、『「それな」の流行の過程で、関東の若者たちの中で関西弁の認識が薄れ、自分たちの言葉として定着した』という部分がこのアンケート調査から少し見えて来たのではないかと。次に使用・流行時期から、「それな」が関西の若者言葉であること、関西から関東に伝わっていったことを証明したいと思う。

3-5. 「それな」の使用開始・流行時期

これらのアンケートの結果より、大学生という若年層の中で「それな」という言葉が一般的に使われていることが分かった。しかし、関西の中老年層においてはどうかだろうか。1974年に出版された『大阪ことば辞典』には、「セヤ(セヤセヤ)」「ソヤ(ソヤナア)」などが同意を表す大阪弁として挙げられているが、「それな」という項目はなかった。1974年には大阪でも同意の意味として使用されていなかったと考えられる。

また、大学生より上の年代、30~70代の関西出身者5人(兵庫・大阪、男性2人女性3人)に、上記のアンケートの(1)と(2)の設問(日常会話のみ)に答えてもらった。その結果、(1)の設問において、同意を表すことばとして「それな」を使用するという人はいなかった。多かったのが「せやな」「そやな」で、30代と40代の方は「ほんまそれ」

を挙げていた。また、(2)の設問で「それな」を使用すると答えた人はいなかった。30、40代の方はすべて「使わないが聞いたことがある」と回答していたが、70代の方はすべて「使わないし聞いたこともない」と回答していた。

このことより、今は若年層の中で浸透している「それな」という言葉だが、少し上の年代の方々には馴染みが薄く、関西の中でも比較的新しい新語という立ち位置なのだと伺える。このことから、仮説の前提である、『「それな」は関西の若者言葉である』ということが言えるのではないか。

それでは次に、どちらの地域が先に「それな」を使用し始めたかという問題を見ていく。図9・10より、「それな」を使用すると答えた人の使用開始時期も、「それな」を周りで聞いたり見たりすると答えた人の使用意識開始時期も、関東より関西の方が早く、その結果は日常会話でもメールやLINEなどの打ち言葉でも差がないことが分かった。関西では、大体「中学校の頃」までで3～4割、「高校生の頃」までで約8割の人が「それな」を使用したり使用を認識しているのに対し、関東では「中学校の頃」までで約1割、「高校生の頃」まででも6割程度の使用しか見られなかった。

このアンケートはおおよそ18～22歳の大学生を対象に行われているため、この選択肢の「小学生の頃」というのは1999～2008年、「中学生の頃」が2005～2011年、「高校生の頃」が2008～2014年、「大学に入ってから」が2011～2014年の間であると考えられる。よって、関西で「それな」が使われ始めたのは1998年より前、関東で流行し始めたのは2005年以降であると言えよう。前出の『大阪ことば辞典』の発刊が1974年ということより、関西で「それな」が使われ始めたのは、1974～1998年の間ではないかと考えられる。

それでは、関東で「それな」が流行し始めたのはいつだろうか。メディアなどで「それな」が取り上げられる時期を考察してみると、「はじめに」でも挙げた日本テレビ系列『SUNDAY COWNTDOWN SHOW シューイチ』というテレビ番組で、2011年8月に「それな」が流行語として取り上げられている。また、このテレビ番組を受けて書かれたと見られる、ガジェット通信という東京産業新聞社が運営するこのサイトにおいて、『2ちゃんねる発の言葉「それな」が女子高生の間で大人気らしい！聞いたこと無い……』というタイトルで同じく2011年8月に記事が書かれている。

また、上記のガジェット通信の記事の中でも取り上げられている、Yahoo!知恵袋における「それな」に関する質問であるが、こちらは2011年3月に『twitterで、引用して返信するとき「それな」という一言を使う方がたくさんいらっしゃるのですが、その意味が分からなくて困っています』や『「それな」とはどういう意味で使っているのでしょうか?』という質問が複数寄せられているのが確認できた(図14)。その後、既出である「JCHK 流行語ランキング2013」に選ばれたり、2ちゃんねるのスレッドの題材になったりと、「それな」についてのネット記事が今現在まで多数書かれている。

<p>twitterで、引用して返信するとき「それな」という一言を使う方がたくさんいらっしゃるのですが、その意味がわからなくて困っています。「それな」の意味について教えてください。</p> <p style="text-align: right;">違反報告</p> <p>質問日時：2011/03/05 11:18:48 閲覧数：23,098 回答数：1 お礼：👍50枚</p>	<p>よくTwitterやツイキャスで耳にする『それな』とは一体どういう意味なのでしょうか？</p> <p>LINEでも耳にします。</p> <p>『本当それな!』という言葉も耳にします。</p> <p>感嘆語だと思うのですが、僕には全くわけの分からない表現です。</p> <p>是非意味を教えてくださいm(_ _)m</p>
--	---

図 14 yahoo!知恵袋に寄せられた「それな」に関する質問

また、2011年という年は、アンケートに回答してくれた大学生たちが、高校生や大学生になっている年でもある。アンケート調査で尋ねた使用開始時期、流行意識時期の答えとして最も多かった「高校生の頃」「大学に入ってから」という時期にちょうど当てはまる。このことから考えると、「それな」という言葉はその少し前から使用が見られており、ちょうど2011年に流行の先駆けという形で特集され、そこから爆発的に広まっていったのではないかと考えられる。

3-6. まとめ

以上のアンケート調査より、「それな」という言葉が大学生の中で広く使われていること、大学生より上の年代にはあまりなじみがない言葉であること、関東より関西の方が使用され始めた時期が早いこと、その時期より遅れて関東で流行したこと、関西の人間は「それな」を関西弁と認識し、関東の人間は首都圏の言葉、もしくは非方言的な言葉と捉えていることが明らかになった。これは仮説として挙げている『「それな」は関西の若者言葉であり、それが関東の若年層にも伝播し、流行した。そしてその過程で、関東の若者たちの中で関西弁の認識が薄れ、自分たちの言葉として定着した』という内容に当てはまる結果であった。つまり、今回アンケートに協力してくれた若年層の意識の中では、この仮説は正しいと言える。

第4章 twitterによる調査

4-1. はじめに

3章のアンケート調査により、「それな」という言葉に対する使用者の意識が分かった。それでは実際「それな」という言葉はどのように使用されているのだろうか。アンケート調査でも多くの人が「それな」という言葉を目にすると答えていた **twitter** を用いて、「それな」の使われ方を調査した。

Twitter とは、アメリカの **twitter** 社が提供する SNS(ソーシャルネットワークサービス)で、2006年にサービスが開始されている。140文字以内の「ツイート」と呼ばれる短文を投稿することができ、鳥のさえずりを表すこの「ツイート」という言葉は、日本では「つぶやき」と意識され定着している。仕組みとしては、自分のアカウントを「フォロー」している人・通称「フォロワー」に自分のツイートを見せることができ、人のツイートに対して返事を送る「リプライ」、その人のツイートをそのまま転載し、自分のフォロワーに見せることができる「リツイート (RT)」などが主な機能である。

この **twitter** において、サービスが開始した 2006年7月から現在までのすべてのツイートを検索する機能が 2014年12月にスタートした。検索窓に検索したいワードと時期を打つと、その期間に呟かれたツイートの中から検索ワードを含むものが新しい順で並ぶ。今回はその機能を使って、「それな」という言葉を含むツイートを検索した。

4-2. 調査概要

- ・調査時期……………2014年12月
- ・調査対象……………2006年7月1日～2014年12月28日の「それな」を含むツイート
- ・調査方法……………2006年7月～2010年4月の期間においては、検索にヒットした中で、同意の意として「それな」が用いられていると考えられるすべてのツイートを、2010年5月～2014年12月の期間においてはヒット件数が膨大なため、10日ごとに検索をかけて、同意の意として「それな」が用いられていると考えられるツイートのうち一番新しいツイートをピックアップして集計した。

この検索には「それな」という文字が含まれているツイートがすべてヒットするため、「それなのに」や「それなので」などのツイートは省き、同意を表す意として使われていると文脈上読み取れるものだけを抽出した。その際、同意の意として用いられていれば、「それなの」なども含めることとした。

4-3. 調査結果と考察

	用例総数	それな	それなの	ほんまそれ(な)	ほんとそれ(な)
2008	2	2	0	0	0
2009	12	3	7	2	0
2010	42	13	13	15	1
2011	36	31	1	3	1
2012	36	35	0	0	1
2013	36	31	0	2	1
2014	36	31	0	1	2

表 1 twitter 検索結果(2008年10月～2014年12月)

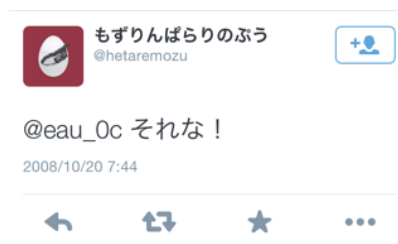


図 15 2008年10月20日

検索した結果、見つかった中で一番古い「それな」を含むツイートは2008年10月のものである(図15参照)。そこから、2014年12月までの「それな」を含むツイートを調べたところ、表1のようになった。

表1より「それな」という言葉は2008年10月に初めて現れて以降、急速に用例数が増えていることが分かる。これは、アンケートやネット記事から見える流行時期と重なる。また現在(2015年1月)、「それな」という言葉を検索すると、一分以内に20件を超えるツイートがヒットする。このことより「それな」という言葉は2010年頃から流行し、今現在も広く使われている言葉だといえる。

図15の2008年10月のツイートをしているユーザーと、2008年12月に「それな」を含むツイートをしているユーザーの他のツイートを見ると、この二人のユーザーは大阪に住んでいるということがわかった。また表1で「ほんまそれ(な)」の欄を見ると、2009年の段階で「ほんまそれ(な)」が使われているのが見られる。その中の一つに「友だちに『さっちゃんって「そやなあ」「そっかあ」「まじで!」「うそやん!」「ほんまそれなw」が口癖やんな』って言われてハツとする(2009年10月)」というツイートがあるが、「そやなあ」や「うそやん!」から、このユーザーは日頃から会話において関西弁を使う人であるのだろう。これらのことから、「それな」を初期の頃から使っているユーザーは関西出身者だったと考えられる。そして2010年頃から全国的に広まっていき、関西以外の地域の人でも「それな」を使用するようになったのではないかと。「ほんまそれ(な)」だけではなく「ほんとそれ(な)」が2010年以降から見られ始めることから、「それな」が標準語の中に取り入れられていく様子が見える。

2009年に注目してみると、用例数の大半が「それなの」が占めている。相手の発言を指し、「そうそうそれなの!」と同意を表す方法が多く見られた。これが2010年になると「それな」と「それなの」が同数になり、2011年以降「それな」が同意の表現として主流となっていった様子が見られる。2011年以降に「それなの」が使われていないのかというと、2014年12月現在、一分に1回程度「それなの」と同意の意味で使われているツイートが見られる。つまり「それなの」が全く使われなくなったわけではないが、先ほども述べた通り「それな」は現在一分間に20回以上ツイートされていることより、「それなの」よりも「それな」の方が同意の表現として一般的になったと考えられる。この「それな」と「そ

「それなの」の関係性だが、2008年代に「それな」が現れてから2009年に「それなの」が急増し、2010年以降「それな」が広く使われるようになっている。このことより、関西のユーザーがtwitterに持ち込んだ「それな」という表現を目にした標準語のユーザーが、それを関西弁的ではなく標準語的に使うため「それなの」という形で一旦取り入れ、その後本来の「それな」という語形で流行していったのではないかと私は考えた。「それなの」より「それな」の方がよく使われるようになった理由として、twitterは字数制限のあるSNSであるためにできるだけ短い言葉が好まれること、「それなの」より「それな」の方が親しみや強い同意が表せるといった意識があるのではないかと、標準語圏で「それな」を使用する友人たちの内省を聞いて考えるに至った。

4-4. まとめ

Twitterを用いた調査によって、「それな」という言葉が実際に流行していることが分かった。また、2010年頃から「それな」を含むツイートが激増したことも、3章のアンケート調査の回答者の意識と一致していたことより、「それな」の流行時期がこの時期であると言えよう。また、2008年頃に「それな」を含むツイートをしているユーザーが関西出身と思われること、「ほんまそれ(な)」という形のツイートが多いことなどから、初期の段階では同意の表現「それな」は関西弁として使用されていたのではないかと考えられる。その後、関東のユーザーが同じ意味で「それなの」という形で取り入れ、字数の問題や使い勝手の良さから最終的に「それな」という形で全国的に広まったと考えられる。

第6章 まとめ

ここまで、様々な方法で「それな」という言葉を調べてきたが、ここで1章で立てた仮説を振り返ってみる。私は『「それな」は関西の若者言葉であり、それが関東の若年層にも伝播し、流行した。そしてその過程で、関東の若者たちの中で関西弁の認識が薄れ、自分たちの言葉として定着した』という仮説を立てた。まず、「それな」が関西の言葉という点であるが、1章のネット記事（ネット用語辞典 ネット王子）、2章の「日本語方言辞書」の記述と「方言分布図」（図3）の分布、3章のアンケート調査、4章のtwitter調査より、「それな」という言葉は関西弁の性質を持っており、話し言葉・打ち言葉ともに、どの地域より関西の使用開始時期が早いと分かった。このことより、「それな」という言葉は関西発祥の言葉と言える。

また、関西の中でも比較的新しい若者言葉であるという点だが、「大阪ことば辞典」に記載がないことから少なくとも1974年以前には存在しなかったことが分かった。また、3章の関西の中老年層を対象に行ったアンケート調査より、中老年層にとっては同意の表現として「せやな」「そやな」などが主流であり、「それな」という言葉は馴染みの薄い言葉であるという言葉が分かった。関西において、「それな」という言葉が若年層では使用率が高く、中老年層では使用率が低いことより、関西の若者言葉であると言えるだろう。

関東の若年層に伝播し、流行したという点においては、3章の東洋大学での使用率や4章のtwitter調査の2010年以降の検索結果より、「それな」の使用が関西以外の地域まで広がっていることが分かる。また、「JCJK 流行語ランキング」にランキングされていることや、アンケートで東洋大学の学生の79.8%が「流行している（していた）と思う」と答えたことから、「それな」という言葉は関東で流行したと言えるだろう。

伝播・流行の過程で関西弁であるという認識が薄れ、関東の言葉として定着したという点であるが、「それな」と同時期の流行語「ゆうて(も)」の先行研究や、3章のアンケート調査の(5)の結果などより、関西弁出自の言葉が伝播・流行の過程で語形やアクセントが東京式になるという変化を経て、関東の流行語として取り入れられた可能性がある。

これらの検証より、『「それな」は関西の若者言葉であり、それが関東の若年層にも伝播し、流行した。そしてその過程で、関東の若者たちの中で関西弁の認識が薄れ、自分たちの言葉として定着した』という仮説は正しいと言えるのではないか。

7章 おわりに

今回の調査は流行語を取り上げたということで、文献がなくネットの記事を参考にすることが多かったが、あまり信憑性がなくどこまで信じていいか判断がつかねることがあった。そのため、アンケート調査の結果が重要な資料になった。関東でアンケート調査を行ってくださった、東洋大学の三宅和子先生に深く御礼申し上げる。

また、実際に使用状況を確認する方法として今回 **twitter** を用いたが、この検索機能にも限界があり、ツイートを非公開にしているユーザーは検索できなかつたり、総ヒット数が出ないために数で比較することができなかつた。また、**twitter** 以外の SNS ではこのような機能がないために調査することができなかつた。これらの点が改善された暁には、別の方法でも「それな」の使用実態について調べてみたいと思う。

自分の感じた違和感から、この「それな」という言葉に対する調査をスタートしたが、調べているうちにだんだんこの言葉を受け入れ始めていることに気が付いた。まだ自分が使用するのにはためらいがあるが、普段標準語を話している東京の友人が「それな」を用いていても、以前ほど引っかからなくなっている。我々は毎日会話をし、メールや SNS で近況を文字にして伝え合っている。この無限のやりとりの中で、耳慣れない言葉というものも、いつの間にか自分の語彙として取り込まれていくのだろうと思った。

【参考文献】

- 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ(2013)『方言学入門』三省堂
- 国立国語研究所編(2006)『方言文法全国地図 第6集』国立国語研究所
- 田中ゆかり (2005a)「東京首都圏における関西方言の受容パターン—「間接接触」によるアクセサリ－的受容—」『関西方言の広がりとコミュニケーションの行方』和泉書院
- 田中ゆかり (2005b)「携帯メールハード・ユーザーの「特有表現」意識」『中村明先生記念論文集 表現と文体』明治書院
- 田中ゆかり (2007a)「東京首都圏に「方言」はあるのか」『国文学 解釈と教材の研究』51-4、學燈社
- 田中ゆかり (2007b)「メールの「方言」は、どこの方言か」『国文学 解釈と教材の研究』51-4、學燈社
- 原田幸一(2012)『首都圏若年層による動詞「言う」のテ形ウ音便の使用—文頭部に使用される「ゆうて(も)」の形に注目して—』
- 藤原与一(1997)『日本語方言辞書—昭和・平成の生活語—』東京堂出版
- 牧村史陽(1979)『大阪ことば辞典』講談社
- 三宅直子(2005)「関西域外における関西方言の受容について—好悪評価コメントより—」『関西方言の広がりとコミュニケーションの行方』和泉書院

【参考 URL】

- 「大学生がよくいう言葉まとめ—NAVER まとめ」
<<http://matome.naver.jp/odai/2136289824818503301>>
- 「若者言葉辞典～あなたはわかりますか?～」
<<http://boresound.blog133.fc2.com/blog-entry-448.html>>
- 「ネット用語辞典 ネット王子」
<<http://netyougo.com/twitter/6361.html>>
- 「サンデーカウントダウンショー シューイチ」
<<http://www.ntv.co.jp/shu-ichi/majisuka/2013/07/4833.html>>
- 「JCJK 流行語ランキング—はてなブックマーク」
<<http://b.hatena.ne.jp/articles/201311/17426>>
- 「2ちゃんねる発の言葉「それな」が女子高生の間で大人気らしい！ 聞いたこと無い……—ガジェット通信」
<<http://getnews.jp/archives/134493>>
- Yahoo!知恵袋
<http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1056853265>
<http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1257453477>
- twitter
<<https://twitter.com/>>